

令和6年度の重点課題

○男子

・「長座体前屈」「ソフトボール投げ」において、県平均値かつ 全国平均値より低い。

○女子

・「長座体前屈」において、県平均値かつ 全国平均値より低い。
 ・運動することが嫌いと回答した児童の割合が9.09%であった。

○全体

・「長座体前屈」において、県平均値かつ 全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○第2、第4火曜日に体育朝会を実施し、柔軟体操を行ったり、設定した時間を走り続けたり、する運動を行い、柔軟性や走力・持久力向上を図った。また、柔軟体操を紹介したり、長座体前屈のコツを伝え、柔軟力の向上に取り組んだ。

○体育科の授業の導入に、運動能力を高める動きを取り入れた体操や、体を柔らかくする運動を取り入れた。（板城マッスル体操・柔軟体操）

○児童会の体育委員会を中心に、週に2回「外遊び教室」を行い、鬼ごっこやドッジボールなどの走る、投げる遊びを多く取り入れた。

○実業団の駅伝選手から、長距離走の走り方や呼吸法、準備運動の仕方などを学ぶ機会を設定した。

○運動能力向上のため、講師を招いて体の動きを高める運動を行った。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.00	18.66	32.91	40.69	52.87	9.36	157.28	21.97	53.03	第5学年	14.92	16.20	34.16	38.24	39.24	9.88	142.20	13.48	51.84

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.00	18.66	32.91	40.69	52.87	9.36	157.28	21.97	53.03	第5学年	14.92	16.20	34.16	38.24	39.24	9.88	142.20	13.48	51.84

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	67.95	23.08	5.77	3.21	第5学年	60.90	31.58	4.51	3.01

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	51.9%	33.3%	7.4%	7.4%	第1学年	61.5%	38.5%	0%	0%
第2学年	60.9%	21.7%	8.7%	8.7%	第2学年	53.8%	34.6%	3.8%	7.7%
第3学年	81.5%	18.5%	0%	0%	第3学年	77.8%	22.2%	0%	0%
第4学年	66.7%	27.3%	6.1%	0%	第4学年	67.6%	23.5%	8.8%	0%
第5学年	67.9%	23.1%	5.7%	3.2%	第5学年	60.9%	31.5%	4.5%	3%
第6学年	67.9%	21.79%	7.05%	3.2%	第6学年	66.7%	27.3%	6.1%	0%

重点課題

【男子】
 ・運動やスポーツをすることは好きですかの肯定的回答91%（前年度比6%↓）
 ・学年があがるにつれ、運動が好きだと答える児童が少ない。
 ・女子に比べて、男子の方が、体を動かすことに抵抗がある児童が多く、高学年では割合も増えている。
 ・県平均値かつ全国平均値未満の項目が半数以上ある（9項目中5項目）

【女子】
 ・県平均値かつ全国平均値未満の項目が半数以上ある（9項目中8項目）

【全体】
 ・体育の授業以外に、30分以上運動をしていない児童の割合が、20%を超えているため、学校外での運動習慣が身につけていない。
 ・柔軟運動に取り組んできたが、目標達成の児童が70%とこれからも継続的に行う必要がある。

令和8年度の重点目標値

○県平均・全国平均値を上回る種目を増やし、記録の向上を図る。

○運動やスポーツをすることが「きらい」と答える児童の割合の低下を図る。（令和7年度低学年 5.95%）（令和7年度高学年 4.32%）
 ※中学年は0%だったため、現状維持できるように取り組む。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

体育科での取組

・年間を通して、運動能力を高める準備体操や柔軟体操を実施する。（板城マッスル体操・柔軟体操）
 ・体育の授業の導入に柔軟体操を取り入れる。・体育科の授業の特性に応じ、運動量の確保に努め、体を動かすことを楽しみ、自ら運動する児童の増加を図る。

体育の授業以外で行う取組内容

【柔軟体操】

・そうじ前の時間を使い、放送を使って全校で柔軟体操をする時間を作る。（なかよし班で取り組む）

【主体的な外遊びの奨励】

・休み時間を有効活用し、児童会主導で児童が主体的に外遊びを楽しめるようにする。

【家庭や地域との連携】

・家庭でもできる運動遊びを紹介したり、地域で行われるスポーツ行事への参加を促したりすることで、